

“Facima”との連携で進化する“DIGUARD”： “安全・安心”と“環境・省エネルギー”対策の融合



松岡正人*



井上信夫**

"DIGUARD" & "Facima" in Progress : Pproviding both Security/Safety and Ecology

Masato Matsuoka, Nobuo Inoue

要 旨

今日、企業が直面している課題に、“安全・安心”と“環境・省エネルギー”がある。“安全・安心”については、自社の社会的信用を守るため、すでに多くの企業が様々なセキュリティ対策に取り組んでいる。しかし、情報漏えい事故などがあとを絶たない状況を見ると、いまだに改善の余地は大きいといえる。

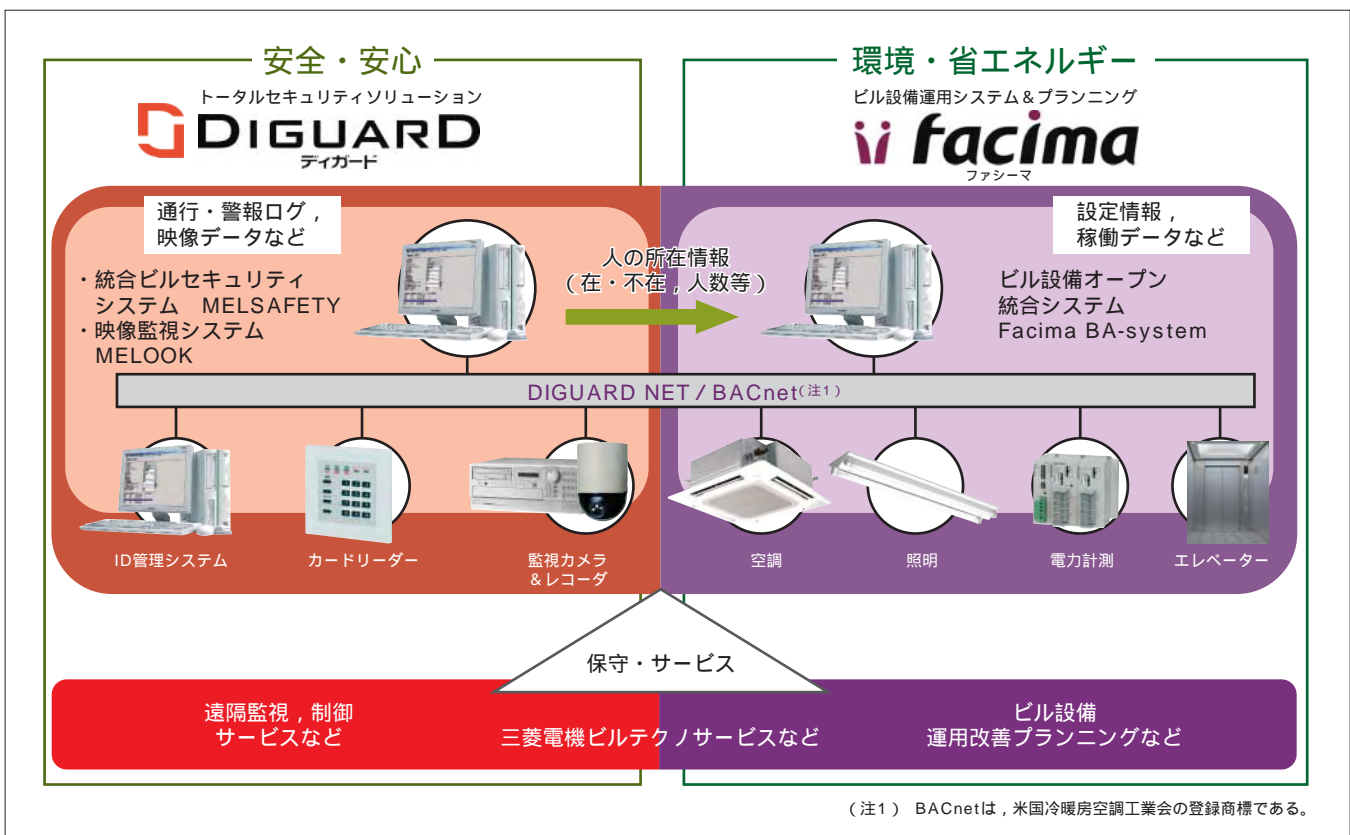
もう一つのテーマである“環境・省エネルギー”対策については、規制の面からも省エネルギー対策が待ったなしの課題として浮上している。中でも、2009年と2010年に2段階で施行される省エネ法改正のインパクトは大きい。三菱電機では、これら二つのテーマを念頭に置きながら、両者の融合というアプローチで、効果的かつ効率的な対応を支

援しようとしている。

まず、“安全・安心”対策を支援するために、個別のセキュリティ製品をトータルセキュリティソリューション“DIGUARD(ディガード)”として体系化し⁽¹⁾、システム・保守・サービスの連携によって、顧客に最適なソリューションを提供することが可能となった。

また“環境・省エネルギー”対策を支援するために、DIGUARDは、大きな役割を果たそうとしている。その背景にあるのが、ビル設備運用システム&プランニング“Facima(ファシーマ)”との融合である。

本稿では、“DIGUARD”と“Facima”のコンセプトとその連携及び将来展開について述べる。



(注1) BACnetは、米国冷暖房空調工業会の登録商標である。

“DIGUARD”と“Facima”の連携

“DIGUARD”と“Facima”は、それぞれが管理するシステムや設備を密接に連携させることで、それぞれがより高度な役割を担うことができるようになる。さらに共通のプラットフォームによって各システムや設備の連携を行うため、セキュリティ対策から始めて、ビル設備管理に範囲を拡大するというように段階的に導入していけるというメリットもある。